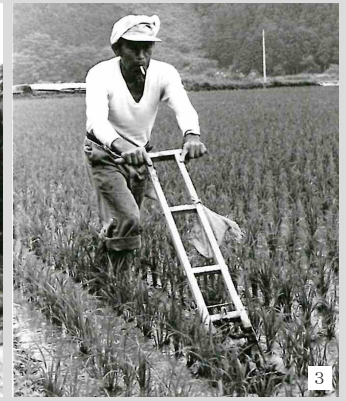




1. 【食】 囲炉裏を囲んで

囲炉裏を囲む家族の姿。食卓に並ぶのは、野菜や山の恵みなど、身近な食材を使った素朴な料理でした。季節のものを食べ、余ったものは保存食にする。自然とともに暮らす知恵が、日々の食卓に息づいていました。

2. 【住】 家には、いつも人の気配

今よりも家と家との距離が近く、近所の人が気軽に行き来していた時代。農作業の合間に声を掛け合ったり、子どもたちが近所の家で遊んだり——。家は、家族だけでなく地域の人々が集う場所でもありました。

3. 【仕事】 山とともに生きる

山に囲まれた村では、農林業をはじめ、地域の資源を生かした仕事暮らしを支えてきました。朝早くから山や畑へ向かい、日が暮れるまで働く。自然と向き合いながら、村の暮らしを守ってきた人々の姿がありました。

4. 【遊び】 遊び場は、村そのもの

子どもたちの遊び場は、学校や公園だけではありません。川で遊び、山を駆け回り、友達と集まって日が暮れるまで遊ぶ。今では当たり前ではなくなった光景も、当時の子どもたちにとっては毎日の風景でした。

あの頃の
暮らし



昔も今も 変わらないもの

時代とともに、暮らしや風景は変わってきました。

それでも、地域を思う気持ちや、人と人が支え合う心は、今もこの村に息づいています。

70年の歩みのそばには、いつもこの自然がありました。豊かな自然とともに今も残る“もの”を次のページでご紹介いたします。